

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		アンディとTiara					公表日 令和8年5月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		身体を動かすスペースと、学習や作業をするスペースを分けている。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	利用者の特性に応じて、人員を配置する様にしている。	一時的に職員数が減少する場合もあるが、利用定員やこどもの状態に応じた適切な支援体制を維持できるよう、迅速に人員確保・調整を行っていく。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	賃貸物件の為、設備導入には限度がある。しかしその中でもこどもの安全を第一に考えた環境を日々整えている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		日々の清掃・消毒を徹底し、清潔で安心して過ごせる環境づくりに努めている。また、活動内容やこどもの特性に応じて空間を調整し、落ち着いて過ごせる環境としている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		こどもの特性に応じ、個別の部屋も用意している。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		定期的なスタッフミーティング、管理者会議等で実施している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		アンケートの集計結果をミーティング内で共有し、支援の改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		定期的なミーティングにて実施している。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		9		第三者による外部評価を行った実績はないが、今後外部評価を取り入れていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		内部講習の他に外部講習を積極的に受講し、その伝達講習も行っている。また法人として費用の負担をしている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		適正に作成し、自社ホームページ内にて公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		アセスメントやモニタリングの他に面談や連絡帳などで課題を拾い上げて分析し支援に反映している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		ミーティング等を活用し、全職員の意見を吸い上げ共有をしている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		定期的なミーティングや毎日の朝礼の中で情報共有を行い、支援に反映している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		アセスメントや日々の保護者との連絡帳等を活用し、確認をしている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		戸外活動や集団活動を取り入れ、一人ひとりが安心して過ごしながらか社会性や身体づくりを育めるよう工夫している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		定期的なミーティングや日々の朝礼の中で行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		ミーティングや日々の朝礼で活動が片寄らないように工夫している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		利用者の特性に応じた活動をサービス計画に取り入れている。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		毎日朝礼を行い、支援内容や一日の流れ、役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3		スタッフの勤務時間等の兼ね合いもあり、翌日の朝礼で共有を行う事もある
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		日誌の他に支援ノートを作成し支援の検証。・改善のために活用している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的にモニタリングを行い計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		サービス担当者会議には最もふさわしいものが参画するよう配慮している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	他の放課後等デイサービス事業所とも連携を図り情報共有なども行っている。	地域とのコミュニティをもっと深めていけるように心がける。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		保育園や幼稚園など関係機関と情報共有を行いながら、お子さまが安心して集団生活へ参加できるよう、一人ひとりに合わせた支援や移行支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		相談支援専門員を通して行っている。	各障害福祉サービス事業所間の連携が必要だと考えている。これまで情報の提供を求められたことはないが、希望があれば提供していきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		9		センターと交流がないので、今後は少しずつ繋がりをもちたいと考えている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	9		定期的に近くのごども館や児童館の利用を行い、地域の子供達との触れ合いを行っている。	
保護者への説明等	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳やSNS ,送迎の際の機会を利用して行っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	送迎時や連絡ノートなどを活用し、相談の機会を設けている。	家族が参加できる場の提供は行ったことがないので、今後取り入れていける体制を整えていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に重要事項説明により行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		面談や日々のやり取りを通して、こども本人や保護者の思いや要望を丁寧に確認する機会を設けている。また、こどもの様子や成長に合わせながら、本人にとって最善となる支援内容を一緒に考えるよう努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		送迎時や連絡ノートを通じて対応を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		相談の要望に対しては随時面談や訪問するなどして対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		9		現状、そういった場を設ける活動は行っていない。当事業所でも出来る事を考え実践していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		苦情担当窓口を置き対応している。苦情担当窓口については、重要事項説の際に周知している。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		毎月会報を発行している。	今後は毎日の情報を、ネットツールを利用して写真や動画とともに発信していく方法を検討している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人情報には十分注意を払って活動している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		連絡帳や送迎時での会話、SNSの利用など、様々な手段で保護者と常時密に連携し、相談やきめ細やかな支援に繋げている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		現状、そういった活動を行ってはいない。今後は実施に向け動いていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		各マニュアルをホームページに掲載し、毎月避難訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		毎月避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		契約時に細かく確認をし、入所後も定期的に確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		医師の指示に基づいた保護者からの情報に従い対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		計画書の作成を行い、定期的に研修や訓練を行い、安全管理に注意をし運営している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		契約時に連絡先の交換を行い、万が一の事態にも対応が取れる様にしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハットをファイルし、事例のある都度スタッフミーティングや朝礼で検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止の講習を受講し、その伝達講習を行っている。	左記のほか、外部講習に積極的に参加するとともに、社内研修を年に数回実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9			該当する利用者は在籍していないため支援計画に記載した事例はないが、その必要が認められる場合は十分な対応を心がける。